

# やすらぎ穴水だより

石川県教育支援センター  
「やすらぎ穴水教室」

〒927-0026  
石川県鳳珠郡穴水町大町リ78-2  
tel / fax (0768)52-2258  
E-mail anamio@ishikawa-c.ed.jp



年末が近づく中、能登では道路の修復や建物の片付けが進みつつあります。震災と水害に見舞われて以降、様々な方々から物心両面で支援や励ましをいただいています。災害で多くの貴重なものを失いましたが、新しく得た大切なものもたくさんあります。それらの多くが、今後の希望の糧になるはずです。

学校では、先生方が環境を整えつつ授業や行事を継続し、児童・生徒の活動を支えています。日常を取り戻しつつはありますが、見えないストレスが重なっている児童・生徒がいるかもしれません。やすらぎ穴水教室は、児童・生徒が学校へ行きづらいつつ思った時に、ささやかな居場所になることができます。必要な時は、相談先の一つとして考えてみてください。

## 「学校に行けない子どもについて考える保護者の会」 を開催

10月26日、当教室にて「保護者の会」を開催しました。当日は、保護者の皆さんに加えてSCやSSWなど地域で様々な支援に携わっているメンバーも参加し、有意義な会となりました。

前半は、医師として、またNPO法人「じっくらあと」理事長として、子どもたちに寄り添う活動を積極的に展開されている小浦詩氏による「こどもの居場所づくり×クリニック」と題する講演を聴きました。小浦氏は、生きづらさを抱えた子どもたちの現状と課題の解説に加え、地域の特性（+災害の影響）を踏まえた対応について話されました。

後半はSCがファシリテーターとなり、講師・SSWを交えて保護者との懇談会を行いました。お互いが徐々に打ち解ける中で、保護者の方々の様々な思いが語られ、よい共有の機会となりました。



## 講演会より (抜粋)

- ・地域的に生徒間のつながりは強いが、競争・選択肢が少ないことが課題
- ・子ども～大人～高齢者と地域課題が連動していることから、家族以外で横断的に関わる人を増やす必要性がある
- ・幼(保)～小は周囲との関わり、中・高(思春期)はアウトリーチの機会が必要なので、「出会える場」を提供したり「相談窓口の垣根」を低くしたりする
- ・“私たちは違う”という前提のうえで、自己理解・他者理解のためのコミュニケーションを考えることが大切
- ・” Empowerment” は、他人ではなく子ども自身が行う
- ・原因探し、犯人探しをするのではなく、望むイメージを共有しながら解決方法を一緒に探していく
- ・不可能なことを求めるのではなく、変わりうることの些細な変化を繰り返していく

### ・やすらぎ穴水教室利用状況(のべ相談件数と通室児童生徒)

	来室相談	SC 等訪問相談 (教室外)	電話相談	SC 等相談 (教室内)	合計	通室児童・生徒
9月	1	3	1	0	5	2
10月	0	4	0	0	4	2
11月	0	6	2	0	8	2

### ・令和7年 1月～3月 やすらぎ穴水教室の相談日※予定は変更になることがあります

SV 相談会: 1/20 2/17 3/17 (13:30～16:30)

SSW 相談会: 1/8 2/12 3/12 (13:00～16:00)